

# GIGAスクール構想のもとでの中学校特別活動の指導について

# GIGAスクール構想のもとでの中学校特別活動の指導において ICTを活用する際のポイント

## 新学習指導要領とICT活用の関係

中学校新学習指導要領特別活動の目標（全体目標）は以下の通りとなっている。

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動をする上で必要となることを理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活，人間関係の課題を見だし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的・実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして，集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての生き方についての考えを深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。

- 特別活動の指導計画の作成に当たり，生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を進めることとし，特別活動の特質に応じて，効果的な学習が展開できるように配慮する。
- もちろん，「効果的な学習が展開できるように配慮する」にはICTの活用が含まれる。
- 特別活動の指導に当たっては，その方法原理である「なすことによって学ぶ」直接体験が基本であるが，指導内容に応じて，適宜コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用することによって，生徒の学習の場を広げたり，学習の質を高めたりすることができる。

特別活動の特質「集団活動、実践的な活動」の代替としてではなく、特別活動の学習の一層の充実を図るための有用な道具としてICTを位置付け、活用する場面を適切に選択し、教師の丁寧な指導の下で効果的に活用することが重要。

# GIGAスクール構想のもとでの中学校特別活動の指導において ICTを活用する際のポイント

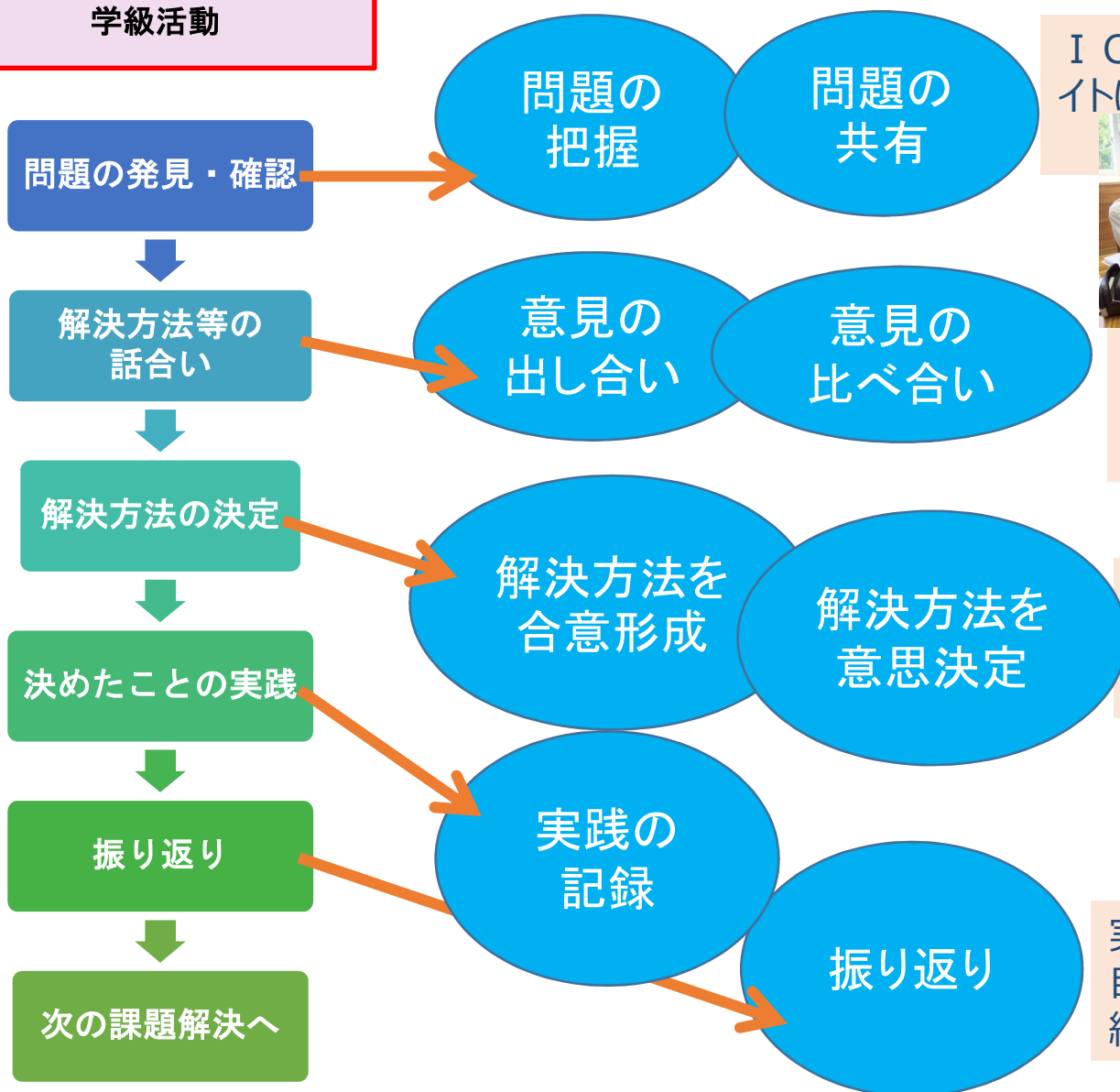
## 特別活動の学習過程



# GIGAスクール構想のもとでの中学校特別活動の指導において ICTを活用する際のポイント

## 特別活動の学習過程とICT活用の関係（例：学級活動）

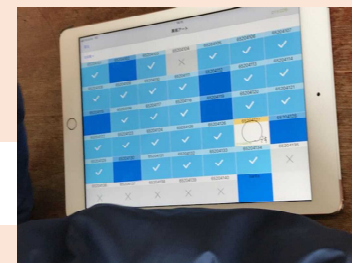
学級活動



ICT端末で様々な生活場面を撮影したり、ウェブサイトアクセスしたりして、必要な情報を収集し、学校生活や社会の問題を見いだす。



問題の把握、共有を経て、ICT端末で個人の意見を表明し合うとともに意見を比べ合い整理する。



話し合い活動を経て、ICT端末を活用して解決方法を集団として合意形成、個人として意思決定する。



実践をICT端末で各自撮影、編集し他者と共有したり、互いの記録を統合して次の課題解決につなぐ。

# 学級活動（１）学級や学校における生活づくりへの参画

## 議題「よりよい学級生活をつくろう」①

### 学級活動の学習過程

学級活動

問題の発見・確認

解決方法等の  
話し合い

解決方法の決定

決めたことの実践

振り返り

次の課題解決へ

### 学級活動で育成を目指す資質・能力

- 学級における集団活動や自律的な生活を送ることの意義を理解し、そのために必要となることを理解し身に付けるようにする。
- 学級や自己の生活，人間関係をよりよくするための課題を見だし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。
- 学級における集団活動を通して身に付けたことを生かして，人間関係をよりよく形成し，他者と協働して集団や自己の課題を解決するとともに，将来の生き方を描き，その実現に向けて，日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

### ICT活用のポイント

- 生活場面を撮影したり、ウェブサイトアクセスしたりして、必要な情報を収集し、学校生活や社会の問題を見いだす。
- 個人の意見を表明し合うとともに意見を比べ合い整理する。
- 解決方法を集団として合意形成を図ったり、個人として意思決定したりする。

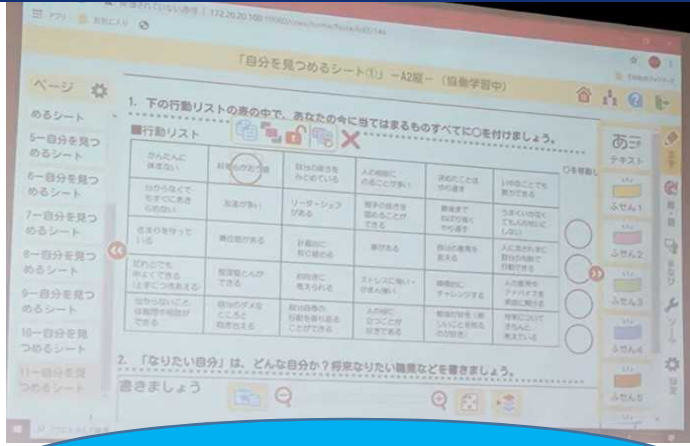
### 事例の概要

よりよい学級生活を送るために自らの生活をふり返り、問題を発見・確認し、その課題解決方法を話し合い、解決方法を合意形成し、学級全員で決めたことを実践しようと意欲を高める活動である。

自らの生活を振り返るとともに集団活動で相互評価し、問題の発見・確認では実際の生活場面や環境を生徒が録画し、全員で視聴することにより距離感や実際の状況を客観的につかむことができる。解決方法の話し合いではICT端末による共同編集を活用して個人の思いを全員で共有し、共通点や異なる点を整理しながら合意形成に向かう。実践へ向けた意欲付けまでが本事例の概要である。

# 学級活動（1）学級や学校における生活づくりへの参画

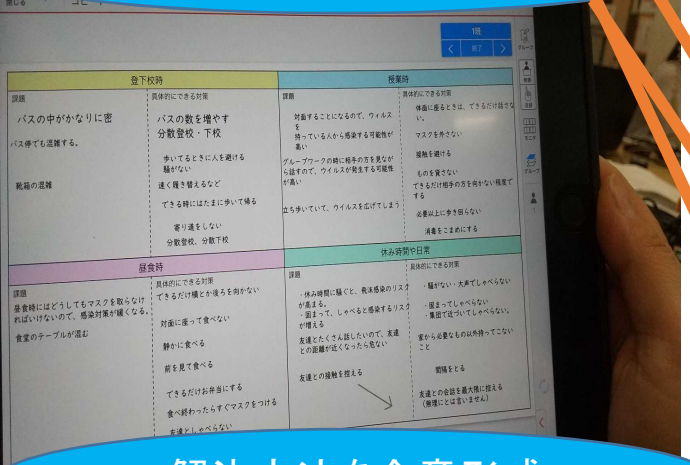
## 議題「よりよい学級生活をつくろう」②



問題の把握

意見の出し合い

意見の比べ合い



解決方法を合意形成

### 学習のねらい

- 自らの生活を振り返るとともに、他者の視点や仲間らの励ましから自身の取組について客観的に見つめる、今後の生活改善につなぐことをねらいとする。
- 生徒それぞれが学級の形成者として、学級生活の充実・向上に主体的に取り組むとともに、生活の改善に向けて学級全員で話し合い、合意形成することでよりよい人間関係を築くことをねらいとする。

### ICT活用の工夫と留意点

- 文書作成ソフトを活用し、まずは自ら生活を振り返る個人での学習活動を行う。
- その後、学習支援ソフトのコメント機能を活用し、相互評価を行い、仲間からコメントや励ましを共有する、集団での活動を行う。この活動に当たっては日頃からの確かな学級経営の中で生徒同士の共感的な関係を築くとともに、事前指導の充実を図る必要がある。
- 学級全体の問題を把握するために生徒が各自録画し動画編集ソフトで作成した「クラスの問題」を視聴し、課題を共有する活動を行う。この際には学級全体で取り組むべき問題に焦点化することが求められ、特に個人の問題の指摘にならないように留意すべきである。
- 課題を絞り、課題解決に向けて意見を出し合う活動を行う。この際、誰もが自由に発言でき、共感し合う雰囲気作りが求められる。
- デジタルホワイトボードソフトを活用し、意見を比較し合い、同類、異類などの整理する活動を行う。
- 原案をもとに合意形成に向けて折り合いをつける活動を行う。この際、安易な多数決にならないように留意する必要がある。
- 解決方法を集団として合意形成する活動を行う。
- 実践に向け個人の目標を確認し、他者と共有するなど意欲につなぐ活動を行う。



※活用したソフトや機能：学習支援ソフトのコメント機能、デジタルホワイトボードソフト、動画編集ソフト

# 中学校・第1学年・学級活動（1）ア 学級生活を見直そう①

高知県提供

## 育成を目指す資質・能力

学級生活をよりよくするために、多様な考えを出し合い、自分たちの問題を自分たちで解決しようとする態度を育成する。

## ICT活用のポイント

集団の生活上の課題を解決するために、ICT端末を活用し、個人の意見を表明し合うとともに意見を比べ合い整理することで、話し合いを活性化し、よりよい合意形成につなげるようにする。

### 事前の活動

- 問題の発見
- 学級目標の達成状況を調べる。（アンケートを実施）
- 議題の設定
- 計画の作成・問題の意識化

### 本時の活動

- 問題意識の共有
- 問題解決に向けた話し合い活動
- 学級生活を改善するために、今後の取組方法について話し合う。
- 合意形成による解決方法の決定

### 事後の活動

- 実践と振り返り

## 事例の概要

- 年度当初に決めた学級目標の達成状況について、アンケート機能を利用してアンケート調査を行う。
- 学級生活を改善するために、現在の課題や改善点などをもとに、デジタルホワイトボードソフトを利用して意見を出し合い今後の取組方法について話し合う。

# 中学校・第1学年・学級活動（1）ア 学級生活を見直そう②

## 【事例におけるICT活用の場面①】

### 問題の発見

年度当初に決めた学級目標の達成状況について、アンケート機能を利用してアンケート調査を行う。



### （活用の場面①）

- アンケート機能を利用してアンケート調査を行うことで、集計作業等の負担が軽減される。

### （活用の場面②）

- デジタルホワイトボードソフトを活用することにより、付箋に書いた意見を出し合い、模造紙に分類・整理するのと同様のことができる。
- 付箋の色や内容も、常時変更可能であり、話合いの状況に応じての変更、修正が容易にできるよさがある。
- デジタルホワイトボードソフトでは、誰が出した意見（付箋）かは特定できない（匿名性がある）ため、ありのままの意見を出しやすくなる。
- ICT端末を利用することで、模造紙や付箋等の準備等の負担が軽減される。

## 【事例におけるICT活用の場面②】

### 問題解決に向けた話し合い活動

学級生活を改善するために、現在の課題や改善点などをもとに、デジタルホワイトボードソフトを利用して意見を出し合い今後の取組方法について話し合う。



【活用したソフトや機能】 アンケート機能、デジタルホワイトボードソフト